

# 奈良市へのメッセージ

高校の修学旅行で訪れ、道路や奈良公園を歩く鹿を見て驚いた記憶があります。東大寺の大仏は教科書で見た写真の実物を生で見られたことに感動しました。また、大きさに圧倒され、以前に見た鎌倉の大仏との大きさの違いにも驚きました。あれから20年以上が経ちましたが、大人になった今、子供たちを連れて再び訪れることができたらと思っています。

M・A

高校生の修学旅行で奈良の東大寺や薬師寺を訪問し、歴史の重厚さや質実剛堅な彫刻美に圧倒されました。大人になった今、ぜひまたお伺いしたいです。

M・M

高校2年生の秋、修学旅行ではじめて奈良市を訪れました。それまで教科書でしか見たことのなかった社寺や仏像を目の当たりにし、言葉にできないほどの感動を味わいました。あれから随分年月が経ちましたが、私にとっての奈良市とは訪れるたびに新たな感動を与えてくれる特別な場所です。奈良と郡山との絆がさらに深まることを祈念しております。

K・A

コロナの中で大変ですががんばりましょう。

A・K

奈良市に行きます。待っててね。しかまるくんだいすき。しかまるくんかわいい。

K・A (男・5歳)

いつか奈良に行ってみたいです。なら公園のシカを見たいです。

M・Y (女・8歳)

私は25年前高校生の時に姉妹都市交流で奈良へ行ったことがあります。現地の中高生に観光名所を案内してもらったり、一緒にキャンプをしたり、ショートコントを披露したりと楽しい記憶が次々と蘇ってきます。関西弁やお笑いの基本(掴みや落ちなど)を丁寧に教えてくれ、福島に戻ってもしばらく関西弁を話していたことは今も懐かしい思い出です。いつか家族で思い出の地をまた巡りたいです。

M・M

修学旅行以来行ったことがありませんが、とっても素敵なところでした。コロナが落ち着いたなら旅しに行きたいです。郡山市とずっと仲良くしてくださいね。

S・J

大学時代、奈良市へ旅行したことがあります。奈良公園でたくさんの鹿と戯れ、平城宮跡で古代衣装を着ながら観光するなど、大学生ということもあって、はしゃぎすぎた旅行が10年経った今でも鮮明な思い出です。行った季節が秋の終わりで、采女祭を直接見ることはできませんでしたが、いつか郡山市とのうねめまつりとの違いや特徴を直接見たいと思っています。コロナ禍の収束後、いつか子どもを連れてまた訪れたいです。

K・T

今のコロナの中でもみんな元気に過ごしていますが、外出のできない町もあり、ストレスがある人たちがいると思います。奈良市と郡山市が姉妹都市になり50年になったことはとてもすごいことだと思います。だから、これからも姉妹都市同士でコロナに負けずにがんばってください。

M・Y (男・10歳)



しかまるくん

©奈良市観光協会

郡山市イメージキャラクター  
がくとくん

奈良市に行って、しかまるくんに会っていっしょに遊びたいです。

K・K (女・8歳)